

恐竜調査隊

が行く

岡山理科大教授・石垣忍



香川で見つかった恐竜化石

岡山県から恐竜はまだ見つかっていません。でもおとなりの兵庫県と香川県からは出てますよ。今回は香川県の恐竜化石を紹介しましょう。

その骨の発見は1986年。

えっ、30年以上前？

はい。丸亀市の金澤芳廣さんが、さぬき市南部にある約8千万年前の地層から見つけ

ました。ただ、見つけたのは骨の一部だったので金澤さんはそのまま保管し、2016年に他の化石コレクションと一緒に大阪市立自然史博物館に標本寄贈しました。

これでこの骨の運命が変わりました。博物館の林昭次学芸員(当時)は「これは恐竜の骨かも？」と考え、ほかの研究者と共同で詳しく分析し



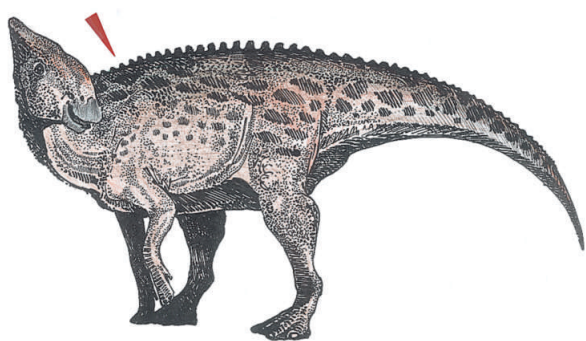
左側の黒いものが香川県さぬき市で見つかった化石の実物。化石は骨の上の部分が失われ、「椎体」の一部が残っています。右側の茶色い骨は、植物食恐竜コリトサウルス(アメリカ産)の前から六番目の背中の骨(実物)。香川の化石とほぼ同じ位置になるように持ちました。

ハドロサウルス類の背骨

たのです。その結果ハドロサウルス類の背中の骨1個の下のほう。「椎体」と呼ばれる部分の一部だと判明したのです。

実は林先生は、その後、大阪市立自然史博物館から岡山理科大に移られ、今は私の研究室の二つ上の階にいます。林先生に頼んで、研究中の標本を見せてもらったことがあります。鉄分が沈着して色は黒く、ずっしり重かった。「なんか香川県の夢が詰まっているみたい」と思いましたよ。

この化石の精巧な複製標本が香川県さぬき市の雨滝自然科学館に展示されています。この館



は小さいのですが、いろいろな恐竜の骨格やアンモナイト、地元で見つかった貝や植物の化石、様々な化石と岩石、鉱物がところ狭しと展示されていて、2時間ぐらいいはあつという間です。それに何とすぐ目の前の崖から出たナマズの化石の実物が展示されています。ちなみに館長はそのナマズ化石を発見した森繁さんです。



あめたきしぜんかがくかん 雨滝自然科学館

ハドロサウルス類の復元図。香川県で見つかった骨は矢印のあたりの背骨1個の下の部分です。詳しい種類はわかりませんが、おおよそこんな格好をした植物食恐竜です。体の全長は9メートルくらいはあったかも(絵・ピャンバーツオクト)

メモ

あめたきしぜんかがくかん
雨滝自然科学館
さぬき市大川町富田中
515-2
☎0879④0155
げつ 月・火曜休館
にゅうりょう 入場無料